MITSUBISHI

別売部品

三菱電機 ビル用 エアコン
分岐管キット取付説明書

CMY-Q100BK
WT05558X01

安全のために必ず守ること

●この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
●ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

●図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）

（接触禁止）

（一般指示）

●お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
●お使いになる方は、本書と共に本体ユニットの取扱説明書・据付工事説明書・保証書をいつでも見られるところに大切に保管してください。
移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

気密試験は「冷凍装置検査員」の資格のある者が行うこと。

⚠警告

◎取付工事をするときに

梱包材を処理すること。
- 包装用の袋で子どもが遊ばないように、破ってから廃棄すること。窒息事故のおそれあり。

指示を実行

販売店または専門業者が取付説明書に従って取付工事を行うこと。
- 不備がある場合、感電・火災のおそれあり。

指示を実行

◎配管工事をするときに

冷媒が漏れていないことを確認すること。
- 冷媒が漏れると、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生するおそれあり。

指示を実行

冷媒回路内に、指定の冷媒（R410A）以外の物質（空気など）を混入しないこと。
- 異常な圧力による破裂・爆発のおそれあり。

混入禁止

◎移設・修理をするときに

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。改造はしないこと。
- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

⚠注意

◎一般注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。
- 流れる冷媒の状態により、低温または高温になっているため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

接触禁止

換気をよくすること。
- 冷媒が漏れると、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生するおそれあり。

指示を実行

お願い

操作弁本体が120℃以上にならないようにしてください。
- 破損するおそれあり。
濡れタオルで操作弁本体を湿布してから、ろう付け作業をしてください。

ろう付け作業時、周囲の配線や板金に炎が当たらないようにしてください。
- 加熱により、焼損・故障のおそれあり。

※一般的な熱源ユニット据付けに関する内容は、熱源ユニット本体に添付の据付説明書に従ってください。

1．内容物の確認

分岐管キット（CMY-Q100BKの箱の中には下記の部品が入っています。作業を始める前にご確認下さい。
※セット形名によっては分岐管キット配管サイズと現地配管サイズが異なる場合があります。
その場合は、下記部品を使用して接続してください。

（1）内容物一覧

機　種	①低圧分岐管キット	②高圧分岐管	③固定ネジ	④エルボ φ22.2	⑤エルボ φ28.6	⑥高圧管	⑦パイプカバー
CMY-Q100BK	1	1	1	1	1	1	1
機　種	⑧OD19.05 −ID15.88	⑨OD22.2 −ID19.05	⑩OD22.2 −ID25.4	⑪説明書（本紙）	⑫断熱カバー	⑬結束バンド	
CMY-Q100BK	1	1	1	1	1	2	

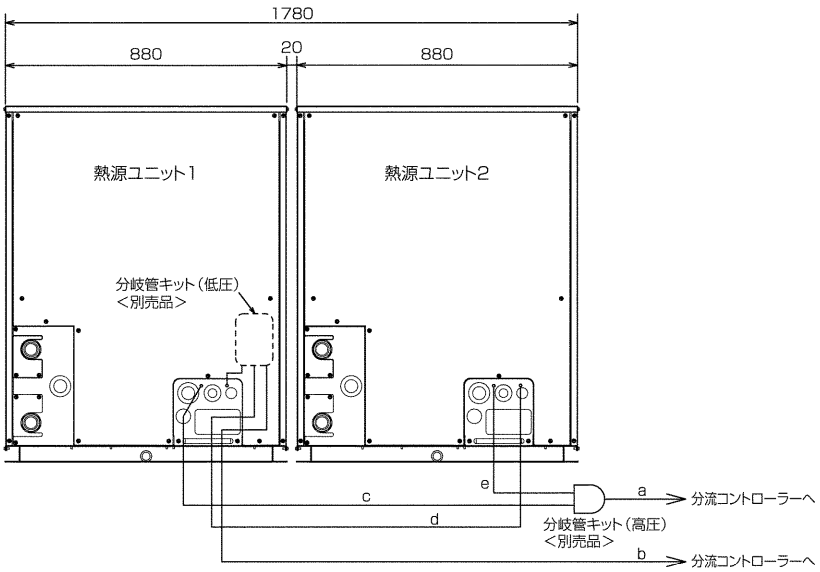
（2）現地手配部品

・分岐管キットに付属されていない現地配管
・耐熱性断熱材（現地配管用）
・断熱カバー固定用テープ

2．冷媒配管サイズの選定および分岐管キットの使い方

（1）配管サイズ

①接続する配管は現地にて手配してください。
②各部の配管サイズを下表から選定してください。
③パイプカッターなどで配管を切断した場合、バリ取りを行った後、ゴミ、異物を取除き配管を接続してください。
※分岐管キットは低圧側のみ熱源ユニット1内部での接続となります。
異容量組合わせの場合には、容量の大きい熱源ユニットに接続ください。



PQRY-P450～690SCM-E（-BSG）（-H）

セット形名			PQRY-P450SCM-E	PQRY-P500SCM-E	PQRY-P560SCM-E	PQRY-P630SCM-E	PQRY-P690SCM-E
構成ユニット形名	熱源ユニット1		PQRY-P224SCM-E	PQRY-P280SCM-E	PQRY-P280SCM-E	PQRY-P335SCM-E	PQRY-P335SCM-E
	熱源ユニット2		PQRY-P224SCM-E	PQRY-P224SCM-E	PQRY-P280SCM-E	PQRY-P280SCM-E	PQRY-P335SCM-E
分岐管キット形名			CMY-Q100BK				
分流コントローラー～分岐管	高圧	a	φ22.2			φ25.4	
	低圧	b	φ28.58				

	熱源ユニット形名	高圧	低圧
		c　または　e	d
分岐管～熱源ユニット	P224	φ15.88（*）	φ19.05（*）
	P280	φ19.05	φ22.2
	P335		

※配管サイズの後に（*）マークのあるものは、分岐管キットと付属配管を接続して下表の配管サイズにします。
※分岐管～熱源ユニット1の低圧管は熱源ユニット1内部で付属配管にて接続してください。

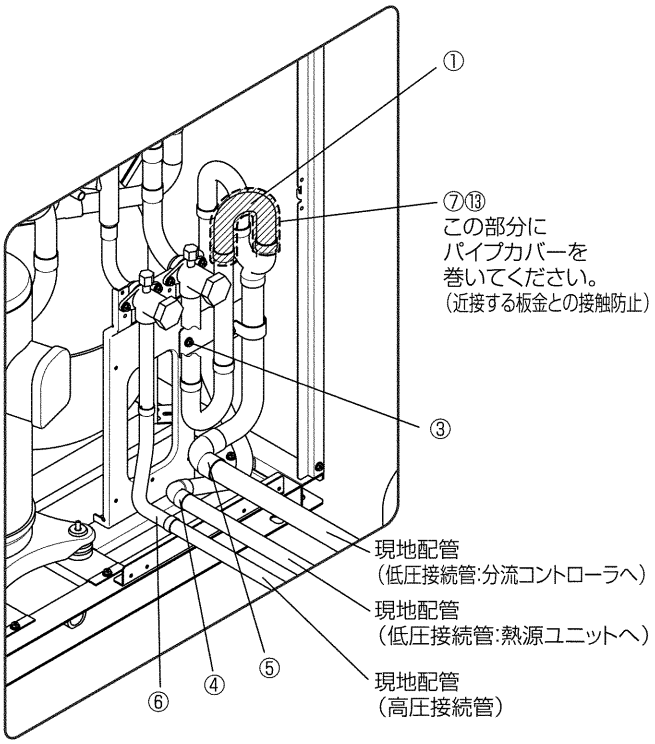
（裏面あり）

(2) 分岐管キットの接続方法

(1) ⑥高圧配管を操作弁にろう付けしてください。
(2) ①低圧分岐管キットを、操作弁の板金に③ネジにて固定し、操作弁にろう付けしてください。
(3) ⑤エルボを予め現地配管にろう付けして①低圧分岐管キットとろう付けしてください。
(4) ④エルボを中央の低圧配管とろう付けしてください。

注1.ろう付け時には周辺の配線などを焼かないように、気をつけてください。
2.配管を操作弁にろう付けする際には、操作弁本体が120℃以下となるように濡れタオル等で冷却しながらろう付けしてください。

(5) ⑦パイプカバーを①低圧分岐管キットのU字配管部に巻いて⑦パイプカバーに⑬結束バンドで固定してください。



操作弁本体が120℃以上にならないようにしてください。

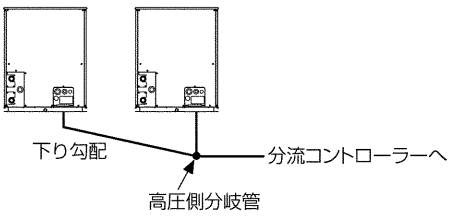
- 破損するおそれあり。
  濡れタオルで操作弁本体を湿布してから、ろう付け作業をしてください。

ろう付け作業時、周囲の配線や板金に炎が当たらないようにしてください。

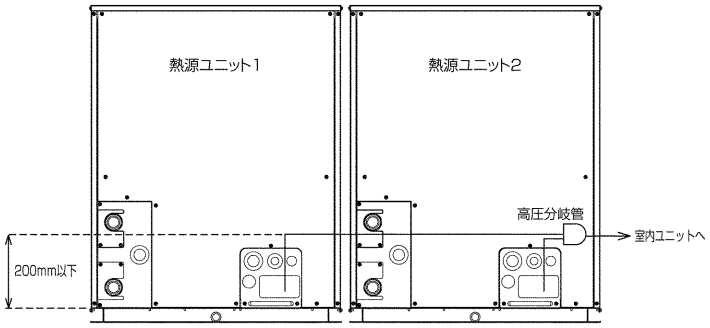
- 加熱により、焼損・故障のおそれあり。

(3) 配管接続（高圧側）

高圧分岐管から熱源ユニットへの配管は、分岐管に向かって下り勾配になるようにしてください。

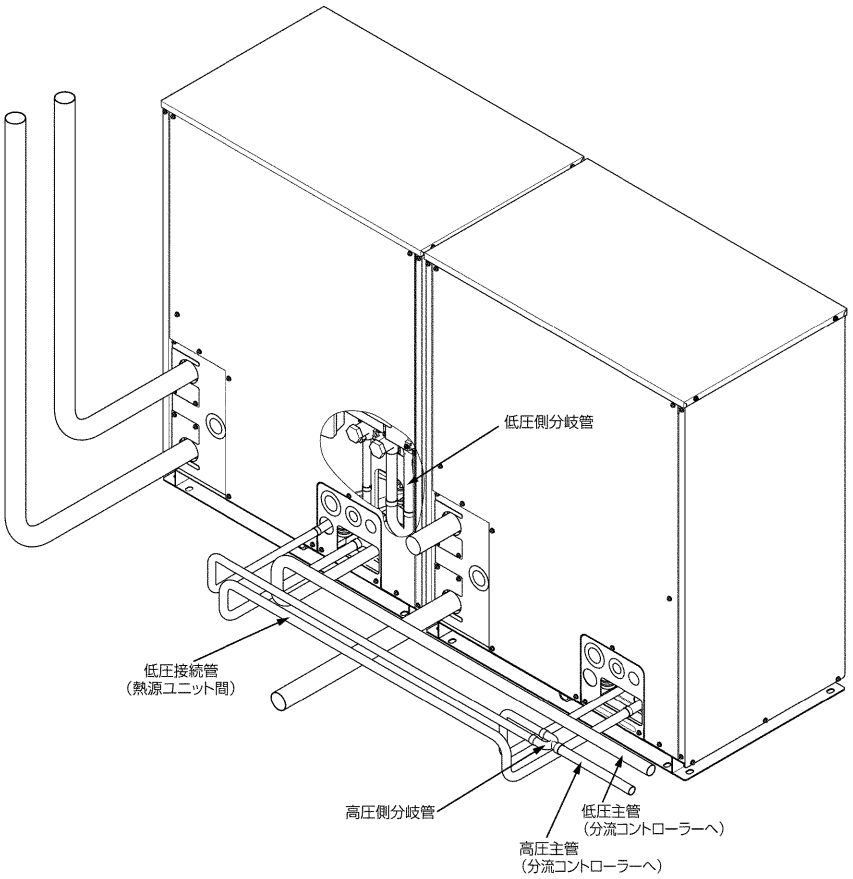


・高圧分岐管を熱源ユニットベースより高い位置で設置する場合は、高圧分岐管取付高さを熱源ユニットベースから200mm以下としてください。



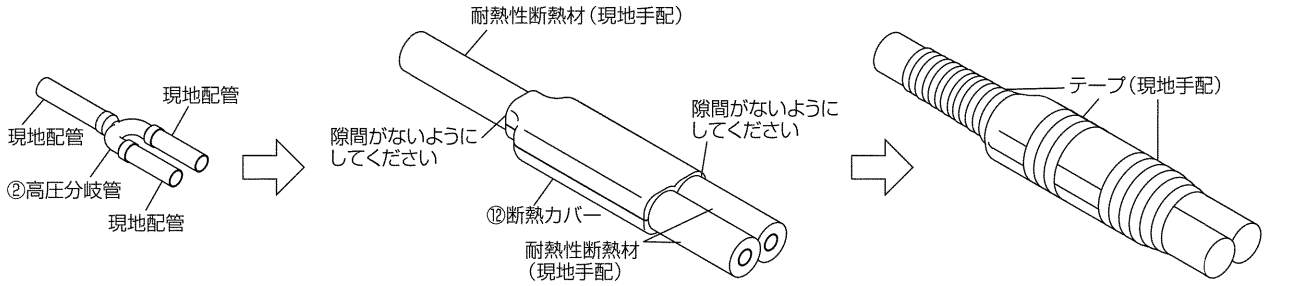
3. 配管接続例

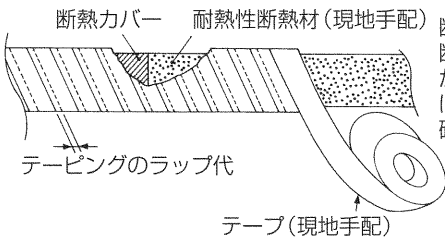
下図を参考に熱源ユニット間の配管接続を行ってください。



4. 断熱カバーの取付作業

配管・分岐管キットのろう付け後、分岐管キットに断熱カバーを取付けてください。
現地配管を含む冷媒配管には全て断熱材を施工してください。断熱は必ず高圧と低圧を別々にユニット内部まで実施してください。
また、市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材（耐熱温度120℃以上、断熱材厚さ：高圧10mm,低圧20mm）を使用してください。
断熱カバーと耐熱性断熱材は、合わせ部に隙間ができないよう端面を合わせて、合わせ部の外周と中央をテープ（現地手配）でシールしてください。





断熱カバーは若干収縮しますので、断熱カバーや現地の断熱材にすき間ができないよう現地でのテーピングは図に示すようにラップ代を設けて確実に施工してください。

5. その他の注意点

現地配管を配管と接触しないように、必要に応じパイプカバー,結束バンドにて固定してください。
また、耐熱性断熱材の接合面が必ず上を向くように取付けてください。